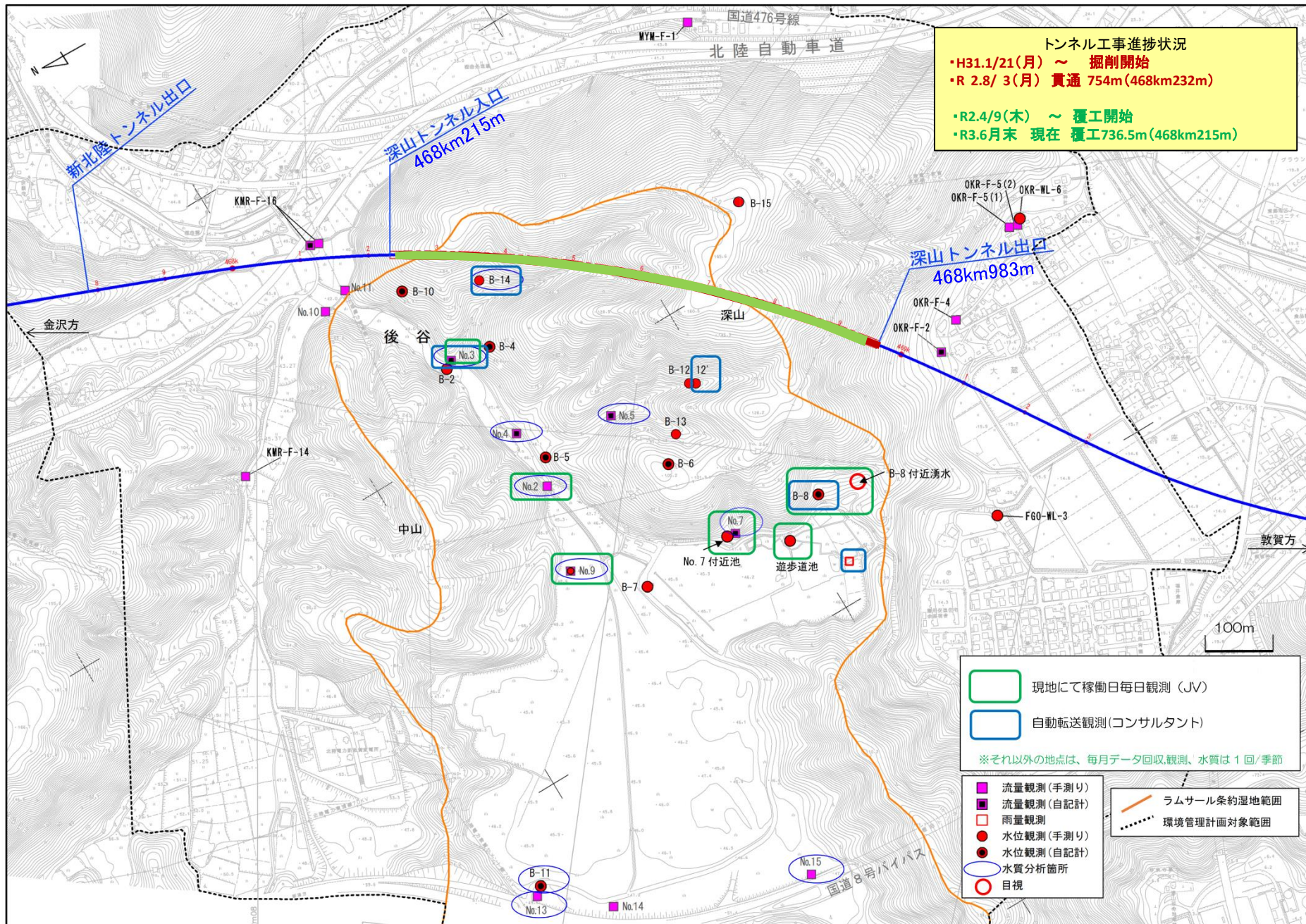


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間: 令和3年6月1日(火)～令和3年6月30日(水)

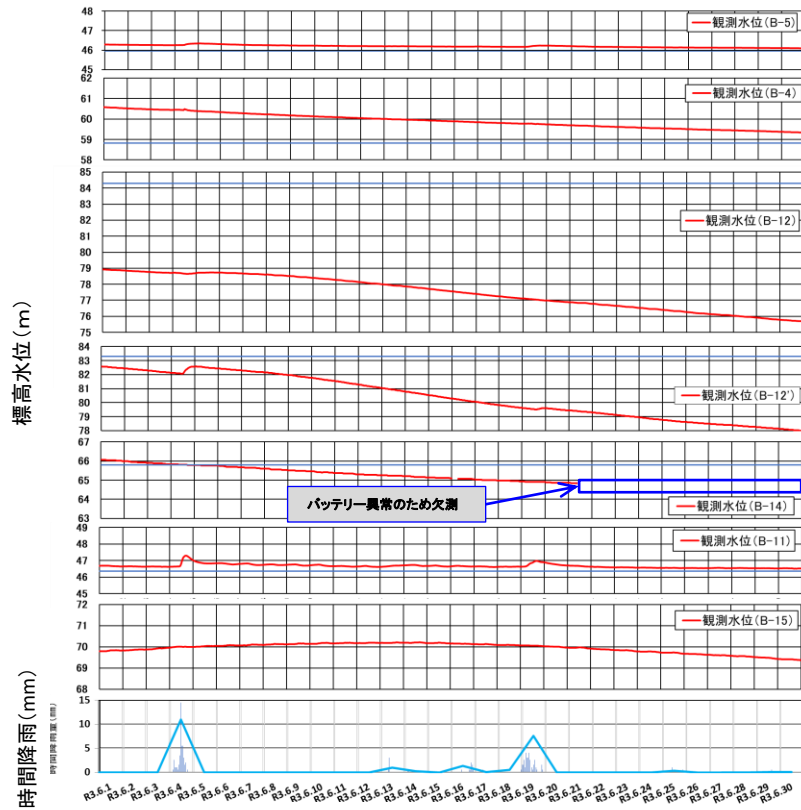
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



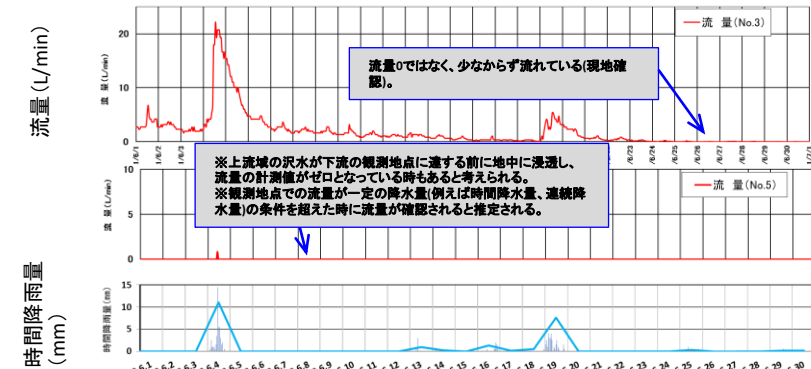
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-11 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

雨量

No. 3 流量

No. 5 流量

雨量 (mm)

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加:下記以外すべて

■2m未満:B-4,B-6,B-10,B-14 ■5m未満:B-12,B-12' □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上

期間中のpH変動量

■0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上:2日 □50mm以上

月降水量

□80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概 要

■水位変動について

①B-4(自記水位計):期間中の降水に対して明瞭な反応を示さず水位は降下傾向にある。

②B-12(自記水位計):6/4の降雨で明瞭な反応を示さず水位は緩やかに低下している。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。

③B-12‘(自動転送):6/4の降水で水位は一時的に上昇するがすぐ低下し、期間末までその傾向は続く。また、引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。

④B-14(自動転送):期間前半は、過年度最低値を上回る。降雨に明瞭な反応を示さず、水位は期間通して低下傾向で、期間末では過年度最低値を下回る。今後も注視していく。6/21より、バッテリー異常のため欠測となる。

⑤B-15(自記水位計):期間中間まで若干水位上昇する。期間中間以降は緩やかに低下傾向となる。

⑥No.3(自動転送)期間中の降水で流量が一時的に増加したがそれ以降は減少傾向である。

⑦No.5(自記): 6/4に0.84L/minと若干量の流量を確認したが、それ以外は流量0となる。

⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。

→観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

①6月の日最大降水量:6/4の44.0mmである。

⇒5月の日最大降水量は61.5mmであった。

②6月の月降水量:90.0mmである。

⇒5月の月降水量は230.0mmであった。